

# 兵庫県下の経済動向

平成24年9月

但馬銀行  
TAJIMA BANK

# 目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

## 【概 況】

最近の県内景気は、持ち直しの動きもみられるが、なお足踏み状態にある。海外経済の減速等を背景に、輸出はやや弱含んで推移している。生産は横ばい圏内で推移している。一方で、個人消費は一部に弱めの動きがみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は厳しさを残しつつも、改善基調が続いている。この間、住宅投資や設備投資は持ち直している。公共投資はこのところ増加している。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が3か月ぶりに前年を上回った。

乗用車販売は、普通乗用車、小型乗用車、軽自動車がすべて増加し、全体では11か月連続で前年を上回った。家電販売は、スマートフォン等が引き続き好調であるものの、薄型テレビが大幅な減少を続けていることから、全体としても低調に推移している。

設備投資は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業は増加計画となっている。

住宅投資は、持家、貸家が減少したものの、分譲が増加し、全体では3か月連続で前年を上回った。

公共工事は、兵庫県、独立行政法人等が増加したものの、国、神戸市、神戸市を除く市町、その他の団体が減少したことから、5か月ぶりに前年を下回った。

貿易は、輸出が米国向けが増加したものの、EUおよび中国を含むアジア向けが減少し、8か月連続で前年を下回った。また、輸入については2か月連続で前年を下回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、情報通信機械工業、一般機械工業、食料品工業などの上昇により6か月ぶりに上昇した。

雇用関係では、有効求人倍率は前月比横ばいで、新規求人数は前年を上回った。

また、所定外労働時間、常用労働者数は前年を下回り、一人当たり名目賃金は前年を上回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、貸出については前年並みの水準で推移している。

企業倒産は、件数は前月を下回り、前年を上回った。また、金額は前月および前年を下回った。

### 兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

6月の兵庫DIは、先行14.3%、一致指数22.2%、遅行指数25.0%となった。

6月の兵庫CIは、先行指数93.1、一致指数90.0、遅行指数102.5となった。

兵庫DIは、先行指数が2か月ぶりに好不況の判断の分かれ目となる50%を下回り、一致指数および遅行指数が4か月連続で50%を下回った。

一方、兵庫CIは、先行指数および一致指数が2か月ぶりに前月差減となり、遅行指数が2か月ぶりに前月差増となった。

県統計課は基調判断を「足踏み」としている。

\*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【生 産】

7月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は95.4、前月比1.5%上昇。出荷指数は94.0、同2.3%上昇。在庫指数は133.8、同0.5%低下。在庫率は137.2、同8.5%低下。生産指数は6か月ぶり、出荷指数は4か月ぶりに上昇、在庫指数は3か月連続で低下した。

前年同月比(原指数)では、生産が3.1%減で5か月連続、出荷は3.1%減で6か月連続で低下した。また在庫は11.1%増で25か月連続で上昇した。

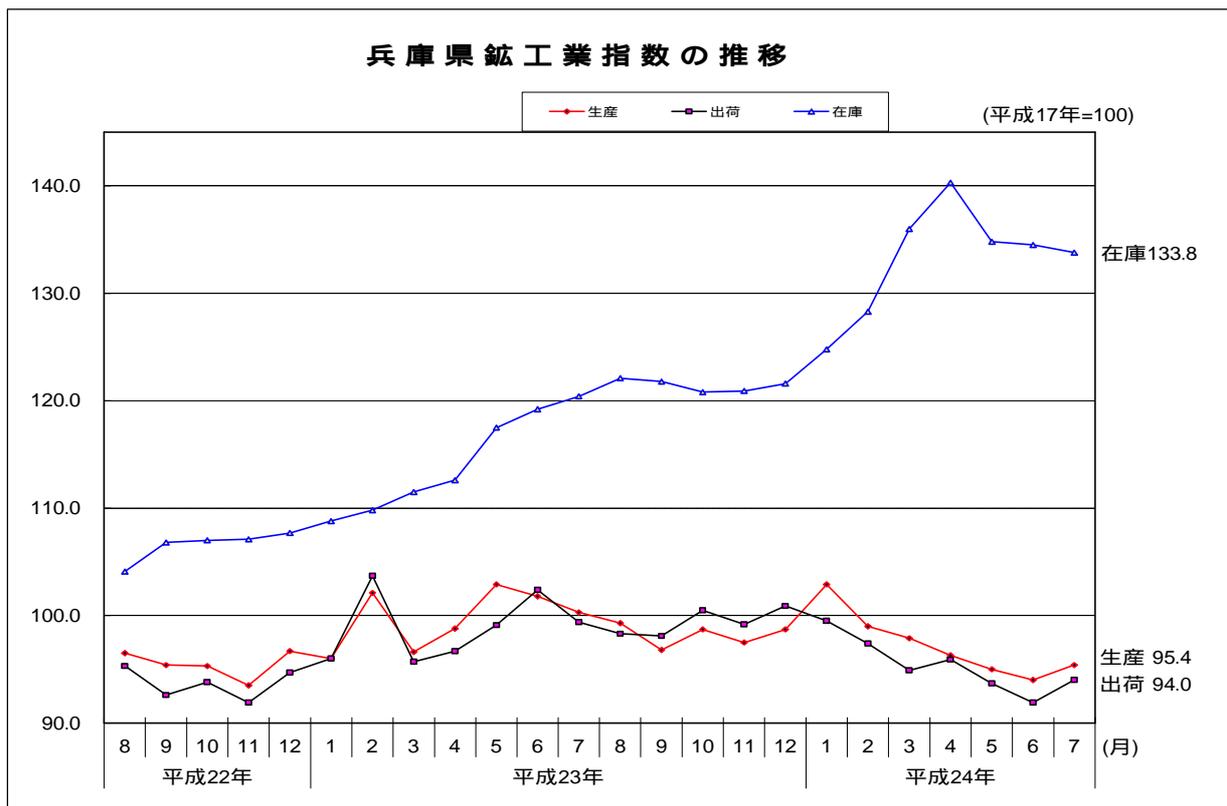
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、携帯電話等の「情報通信機械」が52.7%、清酒等の「食料品」が4.2%、シヨベル系掘削機械等の「一般機械」が3.9%、一般用蒸気タービン発電機等の「電気機械」が0.2%、各々上昇し、旅客車等の「輸送機械」が8.9%、電界効果型トランジスタ等の「電子部品・デバイス」が7.1%、医薬品等の「化学」が5.8%、ガス温風暖房機等の「金属製品」が2.8%、特殊鋼熱間圧延鋼材等の「鉄鋼」が0.3%、各々低下した。

県統計課は、基調判断を「やや弱い動き」のまま据え置いた。

7月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分	季節調整済指数	対前月比増減(%)	原 指 数	
				対前年同月比増減(%)
生 産	95.4	1.5	94.7	3.1
出 荷	94.0	2.3	94.5	3.1
在 庫	133.8	0.5	133.1	11.1
在 庫 率	137.2	8.5	136.8	2.0

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



7月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	87.4	0.3	上昇	亜鉛めっき鋼板、普通鋼冷延広幅帯鋼、普通鋼鋼板、普通鋼線材
			低下	特殊鋼熱間圧延鋼材、普通鋼鋼管、普通鋼鋼帯、鋼半製品
金属製品	77.8	2.8	上昇	ガス湯沸器、スチール・ステンレスシャッター、PC鋼より線、うす板ばね
			低下	ガス温風暖房機、橋りょう、粉末や金製機械材料、ガス風呂がま
一般機械	108.3	3.9	上昇	ショベル系掘削機械、一般用蒸気タービン、プレイバックロボット、コンクリート機械
			低下	蒸気タービン部品、はん用内燃機関、混合機・かくはん機・粉碎機、コンベヤ
電気機械	120.5	0.2	上昇	一般用タービン発電機、非標準油入り変圧器(10000kVA以上)、開閉制御装置、高圧遮断機
			低下	電力変換装置、内燃機関電装品、クッキングヒーター、太陽電池モジュール
情報通信 機械	147.7	52.7	上昇	携帯電話、搬送装置、カーナビゲーション、カーオーディオ
			低下	パーソナルコンピュータ、テレメータ・テレコントロール、レーダ装置
電子部品 デバイス	84.6	7.1	上昇	アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上)、PDPモジュール、混成集積回路、シリコンダイオード
			低下	電界効果型トランジスタ、線形半導体集積回路、シリコントランジスタ(1W以上)、シリコントランジスタ(1W未満)
輸送機械	70.2	8.9	上昇	シャシー・車体部品
			低下	旅客車、船用ディーゼル機関、駆動伝道・操縦装置部品、機関部品
化 学	84.8	5.8	上昇	塩化ビニル樹脂、無水酢酸、純ベンゼン、塩化ビニル(モノマー)
			低下	医薬品、石油化学品製造用触媒、化粧品、エポキシ樹脂
食 料 品	100.8	4.2	上昇	清酒、しょうゆ、配合飼料、牛乳
			低下	めん類、砂糖、ビール類、即席めん

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた8月の県内百貨店売上高は、前年同月比0.6%増の150億78百万円で、3か月ぶりに前年を上回った。夏のバーゲンや秋物衣料が堅調だった。

神戸地区は1.0%増。売り上げ割合の大きい婦人服が2.7%伸ばした。大丸神戸店がけん引し、高級ブランドに加え、紳士向けのクールビズ商品が売れた。同店は4月の食料品売り場の改装効果で食品部門も約20%伸ばし、地区全体を押し上げた。

姫路・加古川地区は1.0%減。夏のセールが好調で婦人服と紳士服ともに前年水準を上回った。一方、食品部門は4.3%減。JR姫路駅前の再開発工事に伴い、山陽百貨店の地下出入り口を一部閉鎖した影響が出ているという。

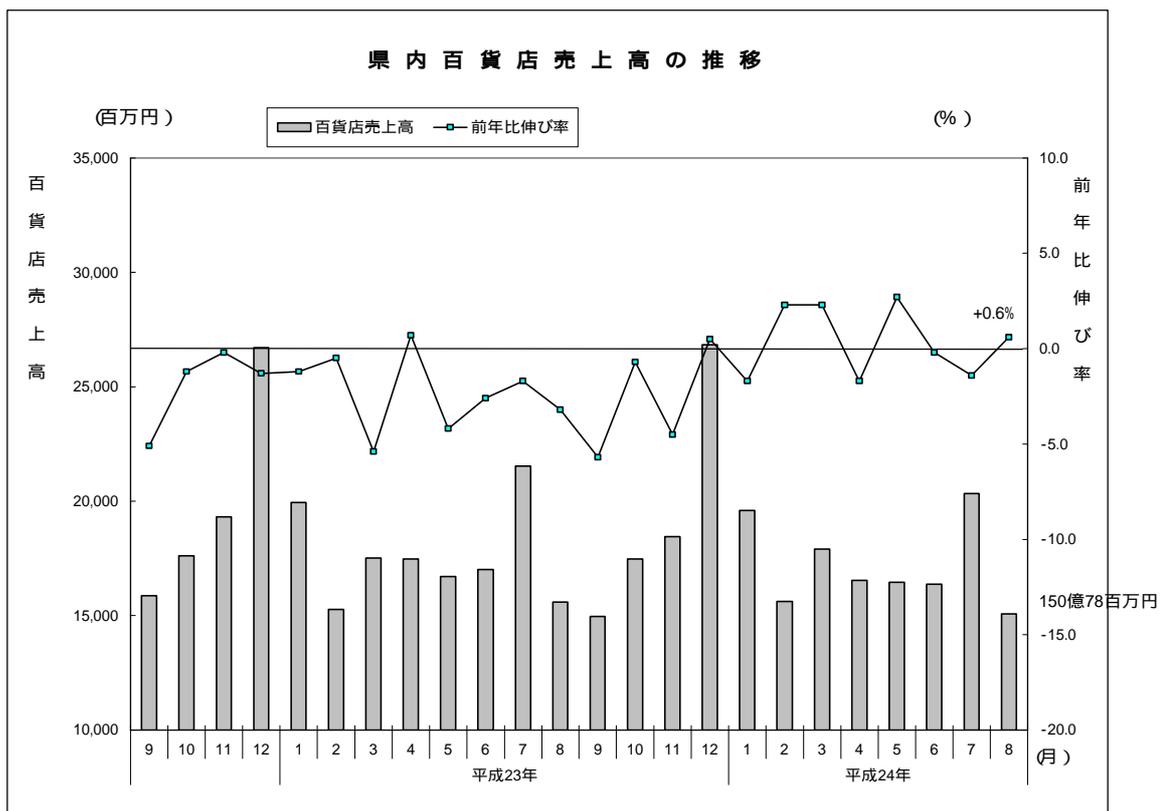
8月の県内百貨店売上高

品目 \ 地区	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	455( 1.8)	123( 3.2)	578( 2.1)
婦人服・洋品	3,389( 2.7)	529( 2.3)	3,919( 2.6)
子供服・洋品	239( 0.3)	75( 6.9)	315( 1.8)
身の回り品	1,243( 2.0)	243( 0.0)	1,487( 1.7)
家庭用品	522( 7.2)	134( 15.4)	657( 3.3)
食料品	4,276( 1.0)	810( 4.3)	5,087( 0.1)
雑貨	1,679( 2.3)	314( 10.8)	1,993( 3.7)
その他	720( 5.1)	318( 2.8)	1,039( 4.4)
計	12,528( 1.0)	2,550( 1.0)	15,078( 0.6)

\* 単位百万円、未満切捨て。( )内は前年同月伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

\* 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



## 【個人消費】『新車登録』

県内8月の乗用車新車登録台数は13,432台、前年同月比11.5%増と11か月連続で前年同月の実績を上回った。

8月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は4,227台(前年同月比6.4%増)、小型乗用車は3,577台(同9.3%増)、軽乗用車は3,958台(同31.2%増)、乗用車合計で11,762台(同14.6%増)となった。

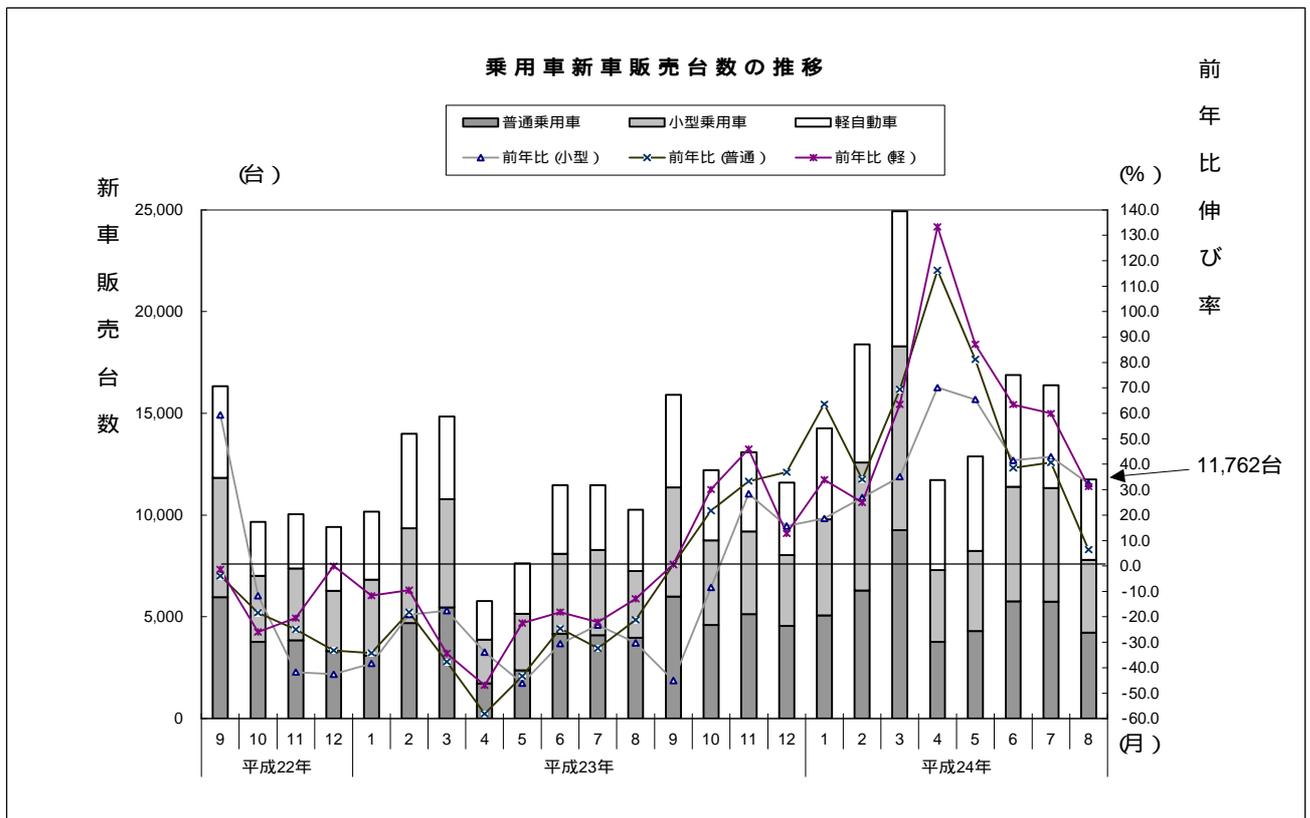
また貨物車等では、普通貨物車は250台(同15.3%減)、小型貨物車は518台(同14.6%増)、軽貨物車は891台(同8.3%減)、バスは11台(同82.0%減)となった。

### 8月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	4,227	6.4	98,386	7.2
小型乗用車	3,577	9.3	106,626	10.1
軽乗用車	3,958	31.2	110,776	30.9
乗用車合計	11,762	14.6	315,788	15.6
普通貨物車	250	15.3	9,513	16.9
小型貨物車	518	14.6	17,016	12.0
軽貨物車	891	8.3	27,624	3.8
貨物車合計	1,659	3.5	54,153	2.2
バス	11	82.0	831	31.8
登録車総計	13,432	11.5	370,772	12.4

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



## 【設備投資】

内閣府が9月12日に発表した機械受注統計によると、平成24年7月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、24年6月前月比7.4%増の後、7月は同2.6%減の1兆8,972億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、6月前月比5.6%増の後、7月は同4.6%増の7,421億円となった。

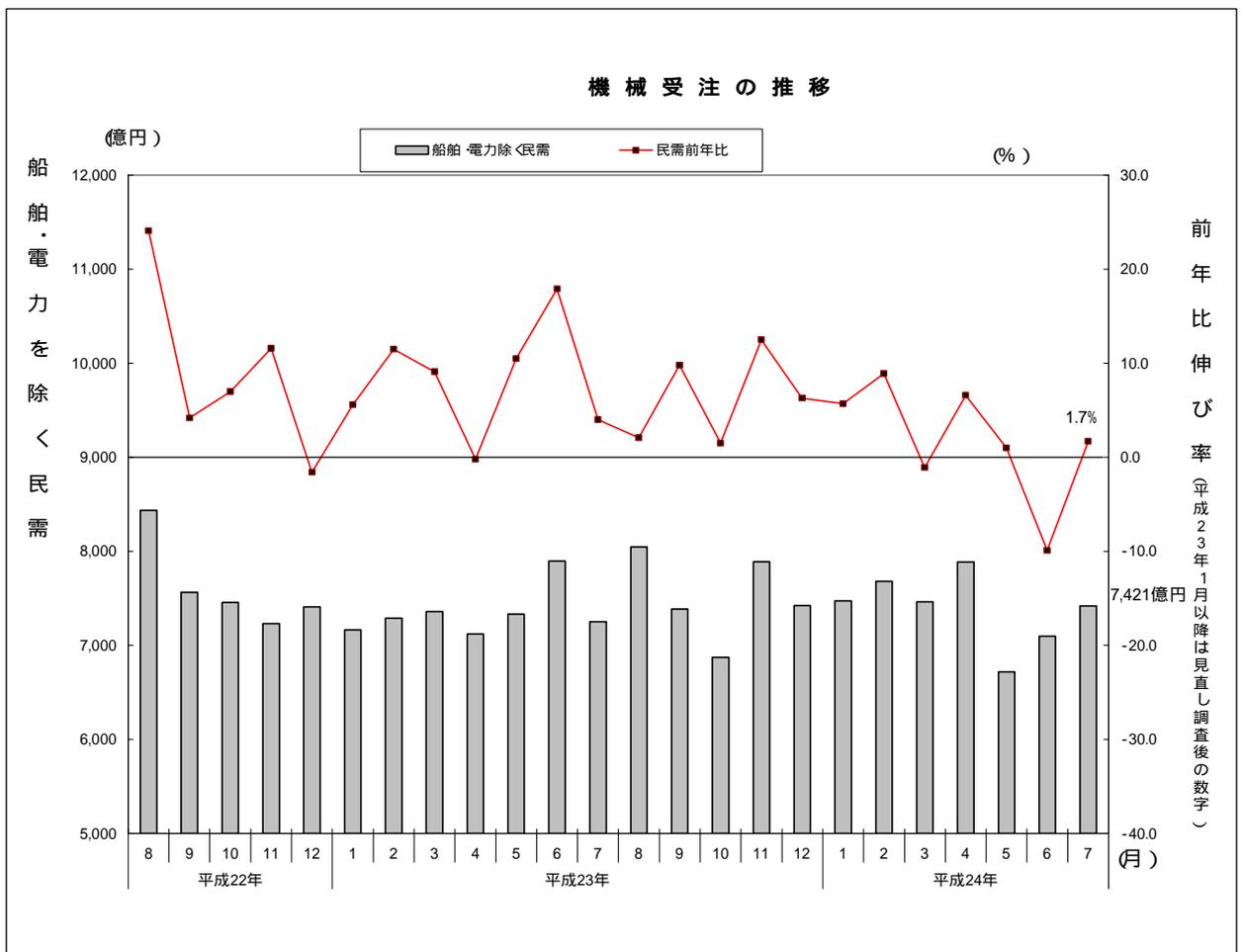
内訳をみると、製造業が同12.0%増の3,284億円、非製造業(船舶・電力を除く)が同2.1%減の4,152億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、その他輸送用機械(217.8%増)、鉄鋼業(182.5%増)、非鉄金属(74.4%増)、パルプ・紙・紙加工品(69.5%増)、石油製品・石炭製品(51.1%増)、造船業(16.5%増)等の11業種で、情報通信機械(23.4%減)、一般機械(9.0%減)、自動車・同付属品(5.4%減)等の4業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、鉱業・採石業・砂利採取業(425.5%増)、運輸業・郵便業(11.9%増)、建設業(6.0%増)等の5業種で、金融業・保険業(29.6%減)、不動産業(17.3%減)、情報サービス業(14.5%減)、電力業(12.1%減)等の7業種は減少となった。

兵庫県下においては、2012年度設備投資額は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

\*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2012年6月 兵庫県  
設備投資計画：全産業前年度比+13.7%(製造業+22.3%、非製造業 11.6%)



機械受注統計（平成24年7月分）

	23年 7~9月 実績	10~12月 実績	24年 1~3月 実績	4~6月 実績	7~9月 見通し	24年 4月 実績	5月 実績	6月 実績	7月 実績
受注総額	59,045 (-4.5) [-2.5]	62,834 ( 6.4) [ 1.4]	67,292 ( 7.1) [ 3.2]	58,815 (-12.6) [-4.0]	57,800 (-1.7) [-1.1]	21,201 (-4.0) [ 7.5]	18,137 (-14.5) [-6.8]	19,477 ( 7.4) [-10.9]	18,972 (-2.6) [ 2.6]
民需	27,423 (-1.2) [ 3.6]	27,404 (-0.1) [-0.3]	26,253 (-4.2) [-1.8]	26,542 ( 1.1) [-5.8]	26,385 (-0.6) [-4.2]	10,003 (16.4) [18.4]	7,901 (-21.0) [-10.6]	8,637 ( 9.3) [-18.1]	9,009 ( 4.3) [ 1.9]
“(Ex 船・電)	22,592 ( 1.6) [ 5.8]	22,425 (-0.7) [ 6.7]	22,620 ( 0.9) [ 3.3]	21,702 (-4.1) [-1.7]	21,437 (-1.2) [-4.8]	7,886 ( 5.7) [ 6.6]	6,719 (-14.8) [ 1.0]	7,097 ( 5.6) [-9.9]	7,421 ( 4.6) [ 1.7]
製造業	9,861 ( 0.0) [ 4.4]	9,792 (-0.7) [ 4.1]	9,804 ( 0.1) [-0.5]	9,234 (-5.8) [-7.6]	9,323 ( 1.0) [-4.4]	3,282 ( 3.4) [ 3.5]	3,019 (-8.0) [-6.3]	2,933 (-2.9) [-16.2]	3,284 (12.0) [ 4.0]
非製造業 (Ex 船・電)	12,793 ( 3.6) [ 7.2]	12,728 (-0.5) [ 8.6]	12,791 ( 0.5) [ 6.4]	12,794 ( 0.0) [ 3.1]	12,350 (-3.5) [-4.3]	4,418 ( 5.7) [ 9.0]	4,135 (-6.4) [ 7.6]	4,242 ( 2.6) [-4.6]	4,152 (-2.1) [-1.0]
官公需	6,166 (-2.4) [-11.0]	6,756 ( 9.6) [ 1.0]	7,496 (10.9) [30.6]	7,811 ( 4.2) [26.7]	6,668 (-14.6) [10.1]	2,877 (-5.0) [41.7]	2,250 (-21.8) [ 4.7]	2,683 (19.2) [26.0]	2,321 (-13.5) [10.4]
外需	24,273 (-3.5) [-6.8]	25,912 ( 6.7) [ 1.9]	27,613 ( 6.6) [-1.3]	22,904 (-17.1) [-9.4]	21,618 (-5.6) [-3.5]	7,876 ( 0.3) [-9.6]	7,901 ( 0.3) [-7.0]	7,126 (-9.8) [-11.3]	7,340 ( 3.0) [-1.9]
代理店	2,394 (-6.7) [-2.0]	2,673 (11.6) [15.7]	2,946 (10.2) [20.4]	2,768 (-6.1) [ 7.8]	2,871 ( 3.7) [21.3]	888 (-21.1) [-7.3]	965 ( 8.7) [17.8]	914 (-5.3) [16.5]	1,043 (14.1) [35.7]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
  2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

## 【住宅投資】

県内7月の新設住宅着工戸数は、総数で3,152戸(前年同月比3.5%増)となり、持家、貸家が減少したものの、分譲住宅が増加し、全体では3か月連続で前年を上回った。また、前月比では86戸の増加となった。

### 7月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	1,021	4.0	28,338	12.5
・分譲住宅	1,240	25.3	20,482	1.2
貸家系・貸家	839	14.8	25,982	14.7
・給与住宅	52	550.0	619	101.0
<b>総数</b>	<b>3,152</b>	<b>3.5</b>	<b>75,421</b>	<b>9.6</b>

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

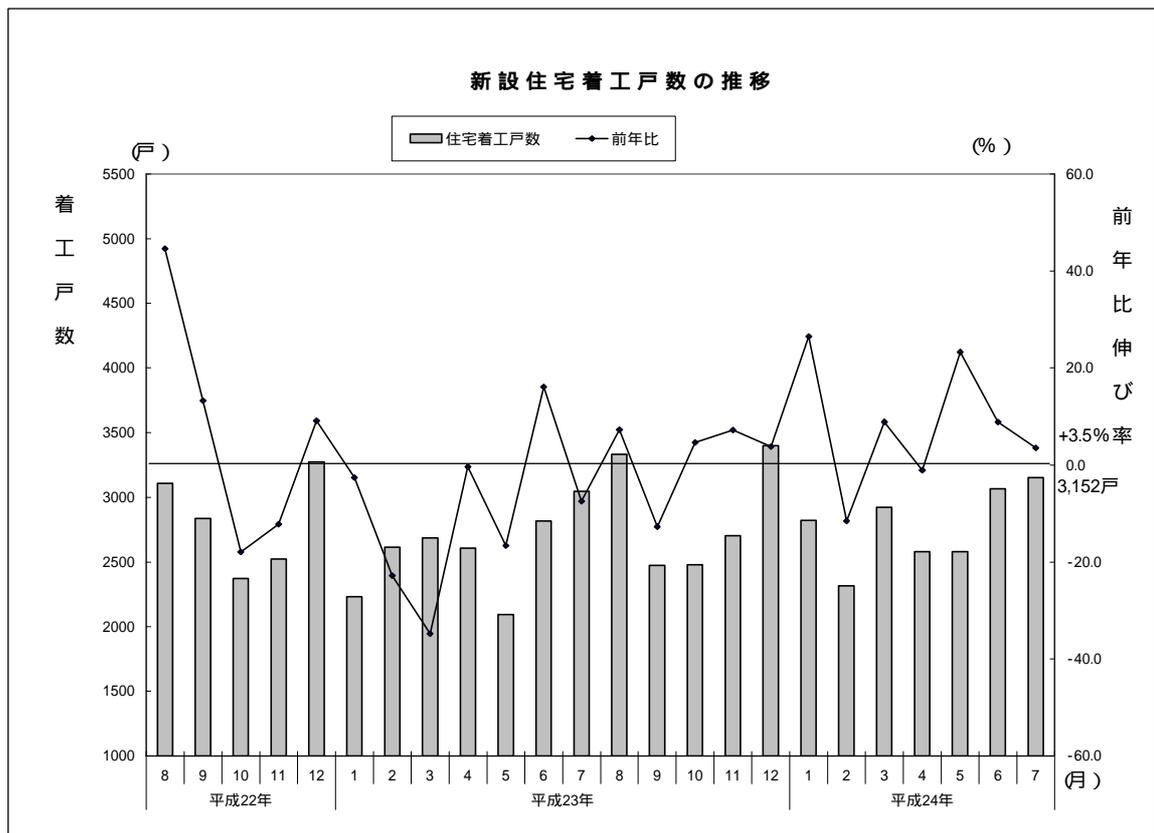
### 7月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	856	656	392	464	100	464	120	48	21	31	3,152
前月比	211	60	-67	-90	-64	71	25	-9	-38	-13	86

資料：兵庫県住宅計画課

平成24年7月の新設住宅着工累計は、総数で11,378戸、前年同期比815戸の増加となった。利用関係別では「持家」が3,635戸(前年同期比0.9%減)、「分譲住宅」が4,086戸(同9.3%増)、「貸家」が3,368戸(同8.3%増)、「給与住宅」が289戸(同502.1%増)となった。



## 【公共工事】

8月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況で見ると、件数は401件で前年同月比2.9%の減少、請負金額は178億20百万円で同1.6%の減少となり、金額ベースでは5か月ぶりに前年同月を下回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「独立行政法人等」が前年同月比272.7%、「兵庫県」同30.4%の増加となったものの、「国」同55.7%、「その他の団体」同14.0%、「神戸市を除く市町」同9.7%「神戸市」同9.6%の減少となり、前年同月を下回った。

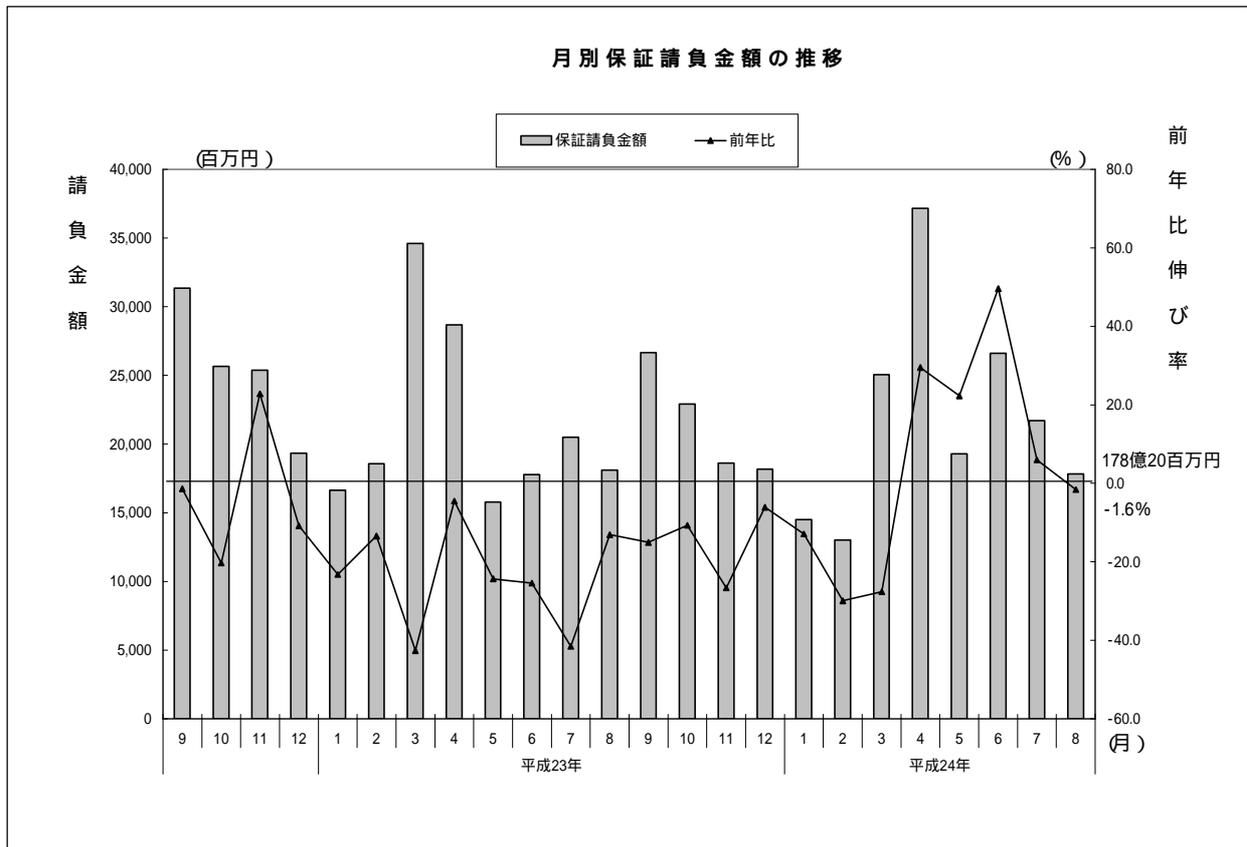
地域別(金額ベース)では、西播磨(前年同月比156.8%増) 淡路(同55.7%増) 阪神南(同44.0%増) 阪神北(同19.2%増) 但馬(同4.1%増)で増加、北播磨(同56.1%減) 神戸市(同42.4%減) 中播磨(同39.5%減) 丹波(同29.0%減) 東播磨(同2.9%減)で減少となった。

### 8月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、( )内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	25( 7.4)	1,885( 55.7)	
独立行政法人等	16( 45.5)	2,042( 272.7)	浜甲子園団地第 期基盤整備工事、 新名神高速道路塩川橋他1橋工事
兵庫県	118( 23.9)	6,273( 30.4)	千種川水系鞍居川金出地ダム堤体建設工事、県立 淡路病院衛生設備工事
神戸市	47( 19.0)	1,769( 9.6)	
神戸市を除く市町	166( 14.5)	4,913( 9.7)	尼崎市丸島雨水幹線等建設工事その10
その他の団体	29( 70.6)	936( 14.0)	
合計	401( 2.9)	17,820( 1.6)	

資料：西日本建設業保証(株)



## 【貿易】

平成24年7月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,466億円、前年同月比6.2%の減少で、総額ベースで8か月連続の減少となった。輸出は、金属加工機械などが増加したものの、繊維機械、科学光学機器などが減少した。一方、輸入は、鉱物性燃料などが増加したものの、音響・映像機器(含部品)、有機化合物などが減少した。

輸出は4,239億円(前年同月比8.1%減)と8か月連続で前年を下回った。

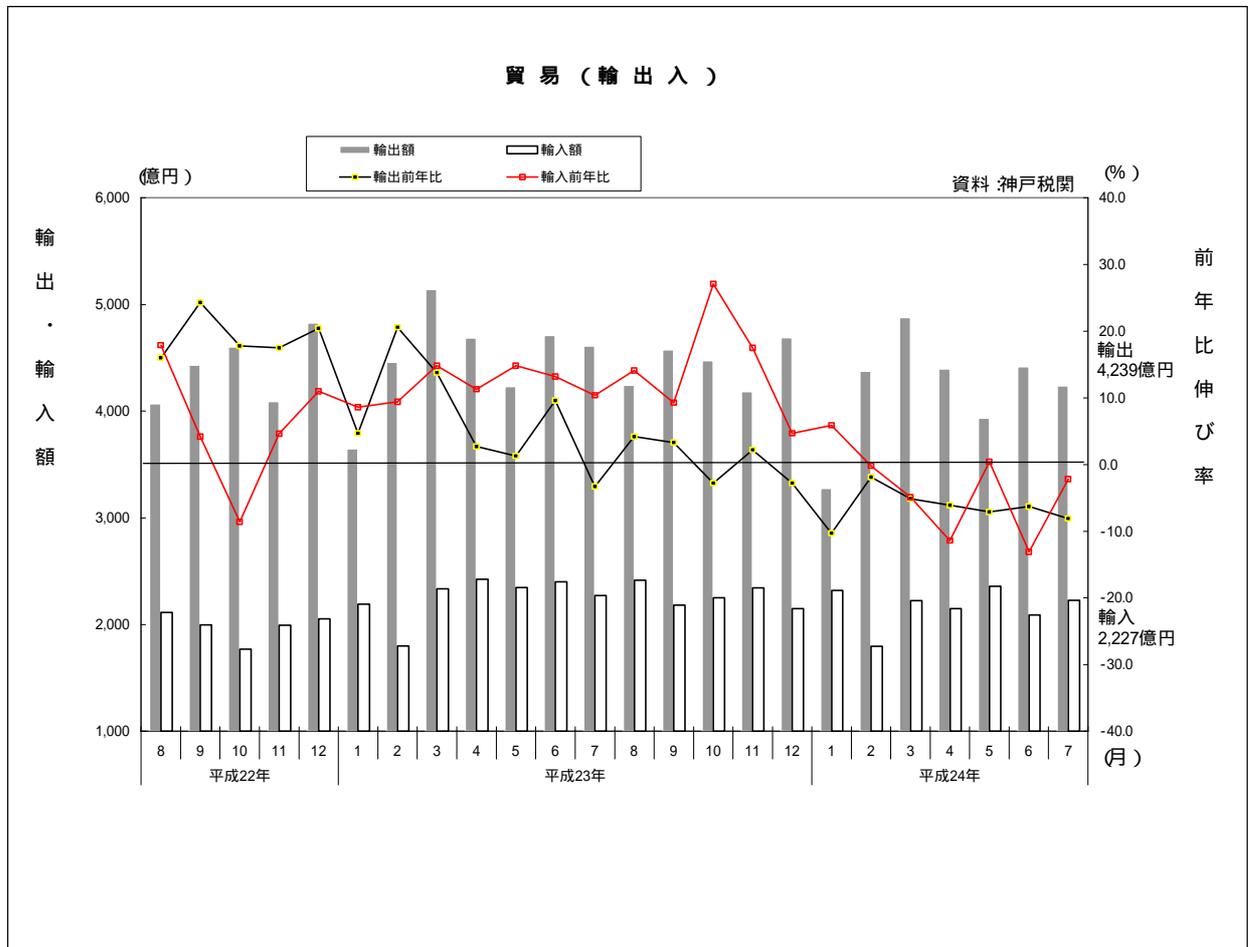
主要品目では、原動機(前年同月比4.2%増、2か月連続プラス)が増加し、織物用系及び繊維製品(同7.3%減、2か月連続マイナス)、プラスチック(同12.5%減、13か月連続マイナス)、建設用・鉱山用機械(同5.9%減、3か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比13.5%増、2か月ぶりにプラス)が増加し、アジア(中国含む)(同12.1%減、10か月連続マイナス)、中国(同15.7%減、10か月連続マイナス)、EU(同20.4%減、3か月連続マイナス)がいずれも減少した。

輸入は2,227億円(前年同月比2.2%減)と2か月連続で前年を下回った。

主要品目では、衣類及び同附属品(前年同月比1.6%増、13か月連続プラス)、非鉄金属(同7.6%増、9か月ぶりにプラス)が増加し、たばこ(同7.8%減、5か月連続マイナス)、有機化合物(同20.9%減、4か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比7.2%増、7か月ぶりにプラス)、EU(同3.0%増、5か月ぶりにプラス)が増加し、アジア(中国含む)(同6.1%減、2か月連続マイナス)、中国(同13.2%減、2か月連続マイナス)が減少した。



## 【物 価】『消費者物価』

8月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が99.9(平成22年=100)となり、前月比は0.3%上昇、前年同月比は0.1%下落となった。生鮮食品を除く総合指数は100.2となり、前月比は0.5%上昇、前年同月比は0.1%上昇となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.8となり、前月比は0.4%上昇、前年同月比は0.1%下落となった。

前月からの動きを見ると、野菜・海藻などの下落により「食料」が0.4%、家庭用耐久財などの下落により「家具・家事用品」が2.0%、シャツ・セーター・下着類の下落により「被服及び履物」が0.6%、保健医療用品・器具などの下落により「保健医療」が0.1%、それぞれ下落した。しかしながら、教養娯楽サービスの上昇により「教養娯楽」が2.2%、交通などの値上がりにより「交通・通信」が1.0%、電気代などの上昇により「光熱・水道」が0.9%、身の回り用品の上昇により「諸雑費」が0.2%、それぞれ上昇した結果、総合では0.3%の上昇となった。

### 8月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	99.9	98.0	101.9	106.7	94.9	97.9	98.2	99.5	100.2	98.2	102.7	100.2	99.8
前月比	0.3	-0.4	0.0	0.9	-2.0	-0.6	-0.1	-0.1	0.0	2.2	0.2	0.5	0.4
前年同月比	-0.1	-0.7	0.4	3.8	-0.9	1.5	-1.0	-0.6	0.1	-1.2	0.1	0.1	-0.1

(注)平成22年=100

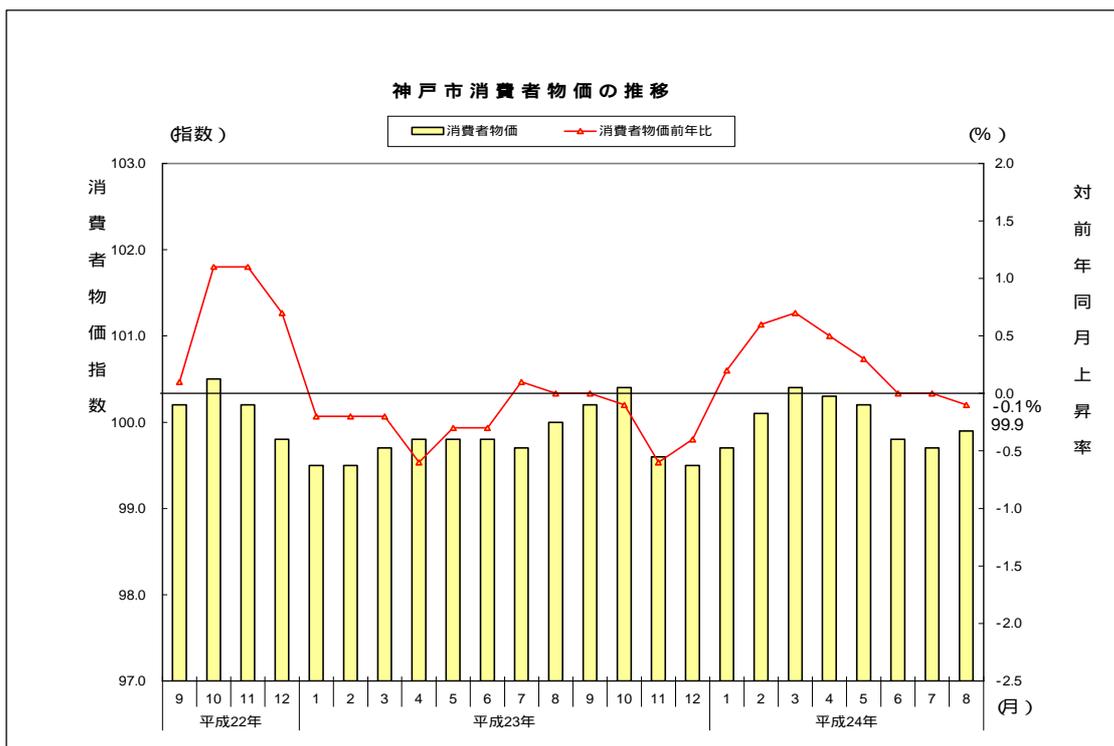
資料：兵庫県統計課

#### 対前月比値上がりした主な品目

教養娯楽サービス (+ 3.6%)・・・宿泊料、外国パック旅行  
交通 (+ 3.3%)・・・航空運賃、JR料金(新幹線、在来線)

#### 対前月比値下がりした主な品目

野菜・海藻 ( - 4.0%)・・・トマト、なす、アスパラガス  
家庭用耐久財 ( - 4.5%)・・・ルームエアコン、電気冷蔵庫、電気炊飯器



## 【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が9月12日に発表した、企業物価指数(速報)による2012年8月の企業物価指数は次のとおり。

### 8月の企業物価指数

(速報、2010年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	100.3	0.3	1.8
輸 出 物 価	94.1	0.0	2.6
輸 入 物 価	104.0	0.0	3.8

資料：日本銀行調査統計局

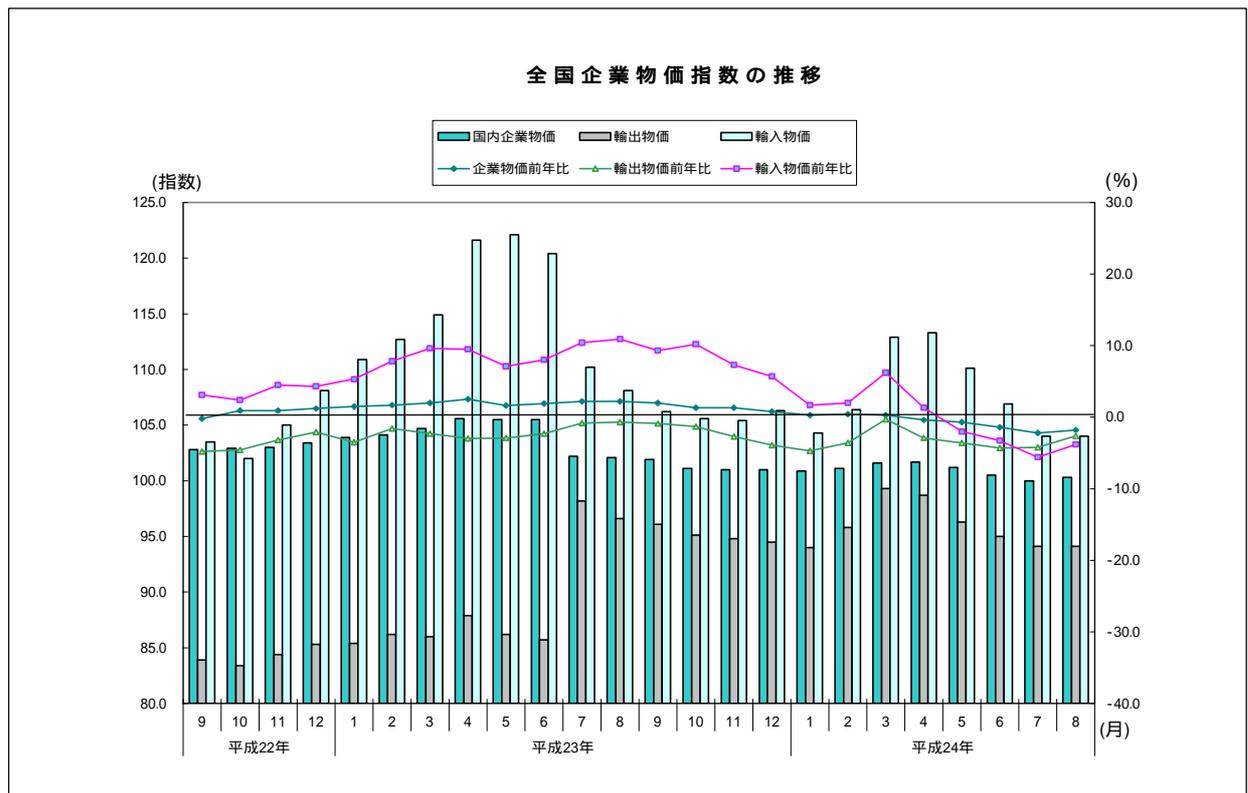
国内企業物価は、電力・都市ガス・水道(前月比+1.8% <産業用特別高圧電力など>)、石油・石炭製品(同+1.8% <ガソリンなど>)、化学製品(同+0.5% <ベンゼンなど>)等が上昇、農林水産物(同-0.6% <しらす干しなど>)、鉄鋼(同-0.2% <ステンレス熱延鋼板など>)等が下落し、全体では前月比0.3%の上昇となった。

前年同月比では1.8%下落し、5か月連続でマイナスとなった。

世界的な景気減速を背景に、鉄鋼や非鉄金属など素材関連を中心に値下がりした。

輸出物価は、化学薬品(前月比+0.9% <パラキシレンなど>)、その他産品・製品(同+0.7% <C重油など>)等が上昇、電気・電子機器(同-0.5% <ビデオカメラ・デジタルカメラなど>)等が下落し、円ベースでは前月比変わらず(前年同月比-2.6%)となった。

輸入物価は、繊維品(前月比+1.6% <セーターなど>)、石油・石炭・天然ガス(同+0.7% <原油など>)等が上昇、金属・同製品(同-1.4% <銅鉱など>)、その他産品・製品(同-0.7% <天然ゴムなど>)等が下落し、円ベースでは前月比変わらず(前年同月比-3.8%)となった。



## 【雇 用】

### (1) 求人状況

県内7月の新規求人数(全数)は、24,803人(前年同月比9.0%増、前月比3.1%減)で、12か月連続で前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は66,750人(前年同月比15.9%増、前月比0.9%増)で27か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比9.3%増で29か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同10.3%増で8か月連続で前年を上回った。また臨時・季節では同7.3%減で5か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比6.5%増)、製造業(同0.9%増)、情報通信業(同5.3%増)、運輸業、郵便業(同4.4%増)、卸売業、小売業(同19.9%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同3.4%増)、宿泊業、飲食サービス業(同7.9%増)、医療、福祉(同20.8%増)、サービス業(同0.9%増)は前年を上回ったが、生活関連サービス業、娯楽業(同14.1%減)は前年を下回った。

### (2) 求職状況

7月の新規求職申込件数(全数)は、21,487件(前年同月比0.9%減、前月比1.5%減)で、11か月連続で前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は103,826人(前年同月比2.7%減、前月比3.8%減)で26か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比1.4%減で11か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同3.0%減で2か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比40.2%増で3か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比0.2%増で2か月ぶり、事業主都合離職者は同6.4%増で2か月ぶり、自己都合離職者は同2.2%増で2か月ぶり、自営・他は同2.4%減で14か月連続、無業者は同26.6%減で7か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、29,389人(前年同月比7.5%増)で、2か月ぶりに前年を上回った。

### (3) 求人倍率状況

7月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.12倍で前月を下回り、有効求人倍率については0.70倍で前月と同じとなった。

### (4) 失業者の状況

7月の全国の完全失業率(季節調整値)は4.3%、完全失業者数(原数値)は288万人(前年同月比24万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は4.9%(前年同月と同水準)で、完全失業者数(原数値)は50万人(前年同月と同数)となった。

## 産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
24年7月	24,803	1,833	2,790	319	1,317	4,310	185	421	728	1,854	964	6,363	3,005
前年同月比	9.0	6.5	0.9	5.3	4.4	19.9	15.6	11.4	3.4	7.9	14.1	20.8	0.9

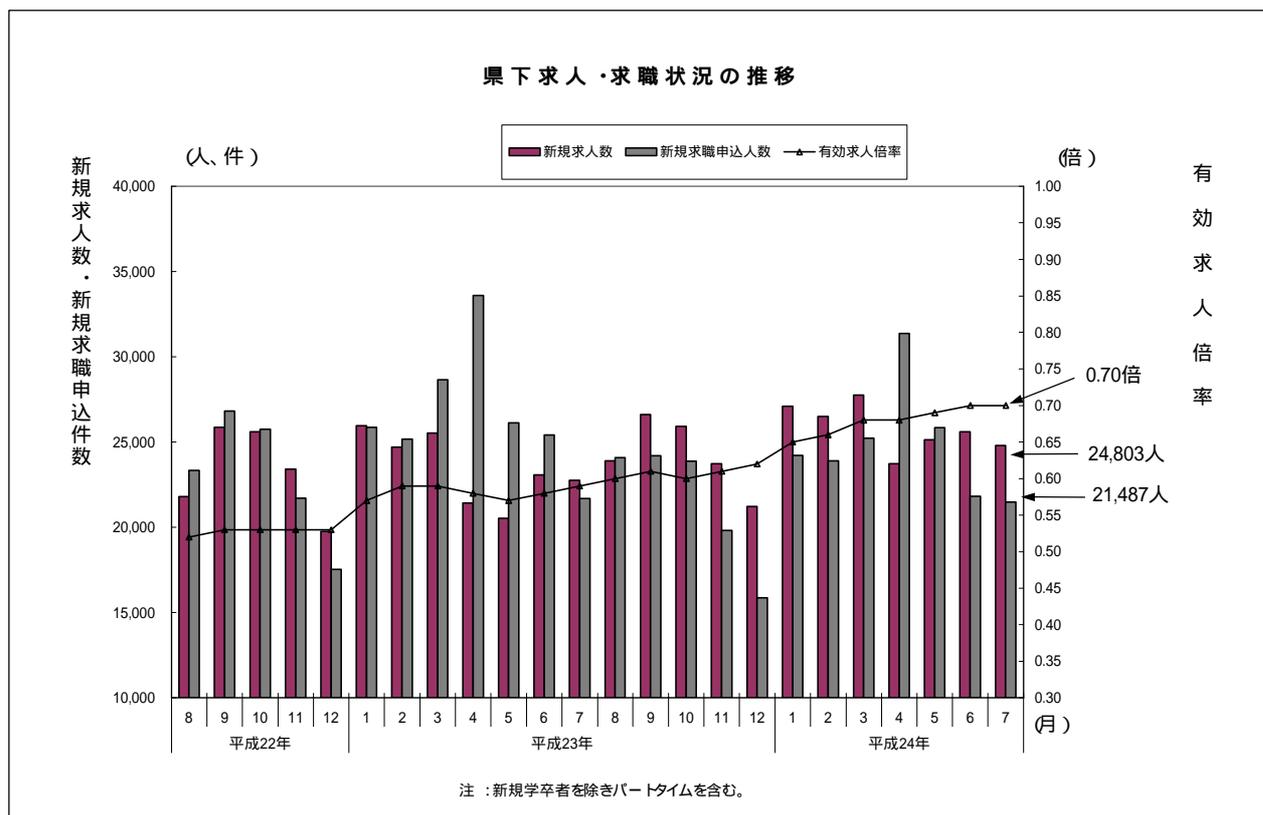
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

## 雇用・賃金の推移

項目・年月	11/7-9	11/10-12	12/1-3	12/4-6	12/5	12/6	12/7
有効求人倍率 (季調済、倍)	0.60	0.62	0.66	0.69	0.69	0.70	0.70
新規求人数 (原数値、前年比%)	3.9	3.0	6.8	14.5	22.5	11.0	9.0
所定外労働時間 (規模5人以上、前年比%)	1.0	4.8	2.2	5.0	5.0	6.5	4.2
常用労働者数 (規模5人以上、前年比%)	0.2	0.6	0.0	0.6	0.6	0.7	0.8
一人当り名目賃金 (規模5人以上、前年比%)	0.9	0.5	1.3	2.9	2.1	7.0	4.0

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部



## 【信用保証】

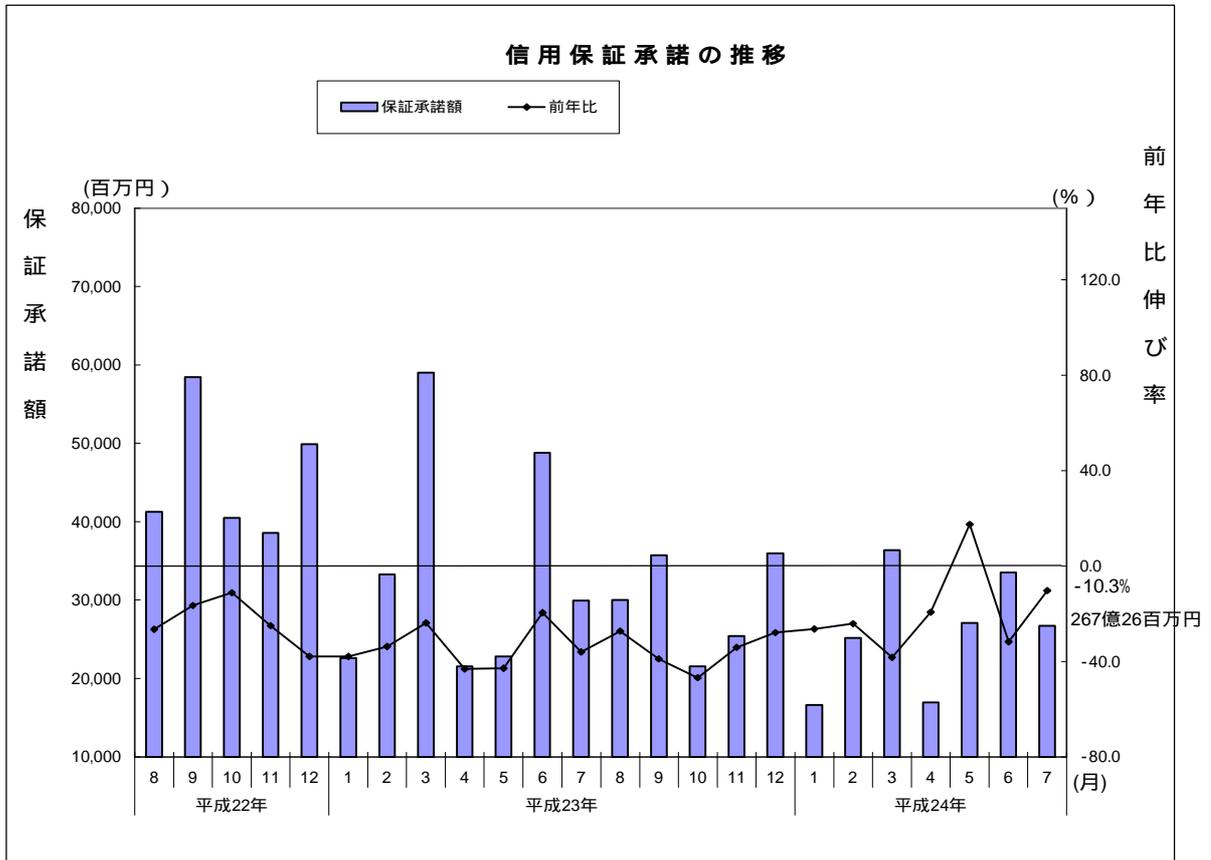
兵庫県信用保証協会による7月の保証承諾実績は、件数で1,710件（前年同月比4.4%減）、金額は267億26百万円（同10.3%減）となり、いずれも2か月連続で前年実績を下回った。

景気の先行きが不透明で売上高も伸びないなか、新たな借入を控える傾向が依然強いほか、前年同月は東日本大震災復興緊急保証の承諾が多く、その反動があった。

業種別（金額ベース）では、「飲食店」614百万円（前年同月比20.1%増）、「小売業」2,909百万円（同1.0%増）で前年同月を上回り、「サービス業」3,291百万円（同2.7%減）、「建設業」6,738百万円（同8.2%減）、「製造業」5,248百万円（同14.4%減）、「不動産業」1,208百万円（同15.1%減）、「運送・倉庫業」1,184百万円（同15.2%減）、「卸売業」5,459百万円（同18.8%減）で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、229件（前年同月比7.3%減）、28億55百万円（同5.1%増）となった。

7月末の保証債務残高は、111,895件（前年同月比4.2%減）、1兆3,075億円（同8.3%減）となった。



## 【金融】

7月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	140,892	1.1	55,995	0.7
地方銀行	23,856	0.9	19,970	4.0
第二地方銀行	31,379	2.4	19,654	0.1
信用金庫	79,350	0.7	37,850	1.8
その他	17,097	1.9	17,062	0.9
計	292,574	1.1	150,531	0.1

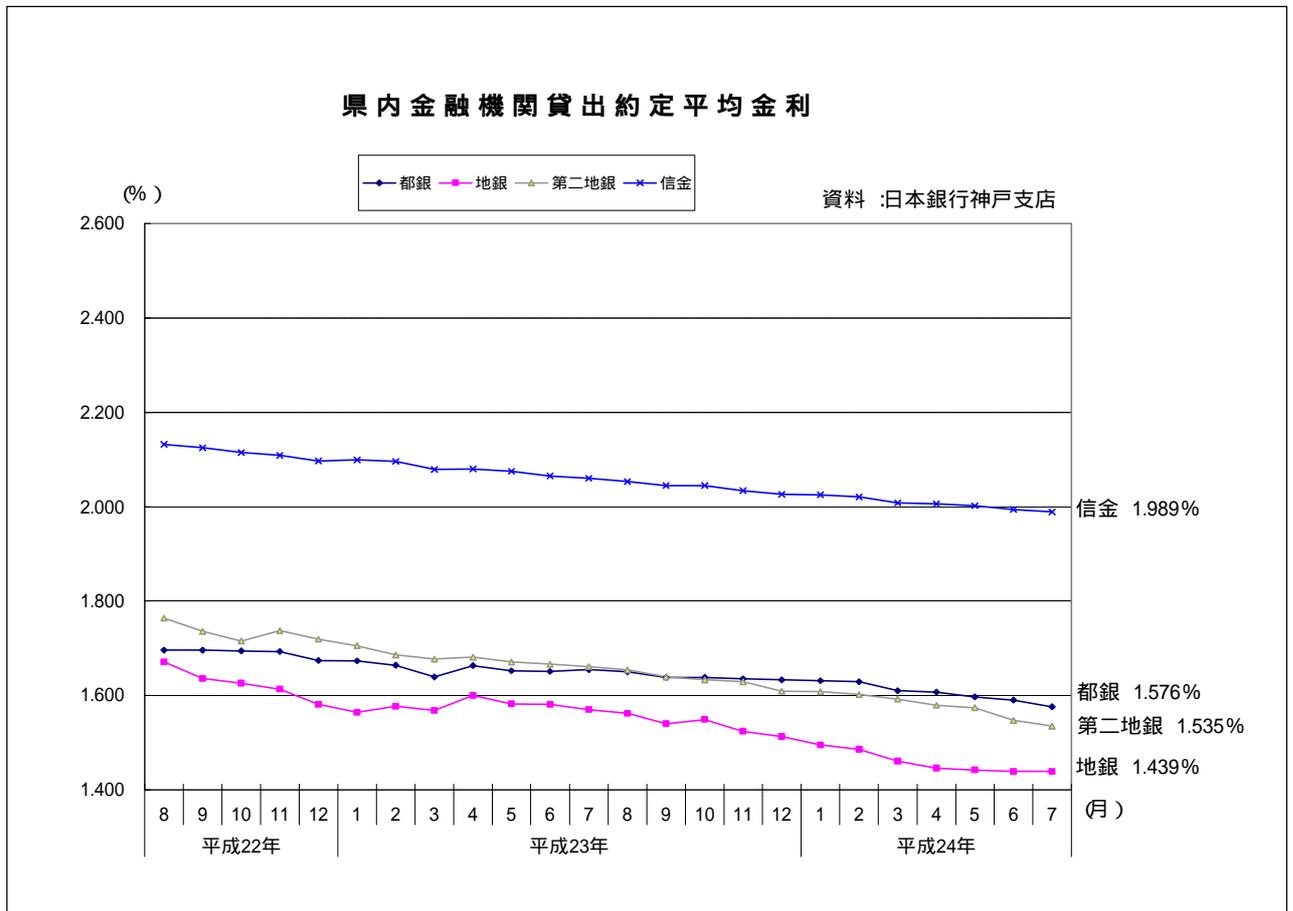
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

7月の預金は、前年を上回って推移している。

7月の貸出は、前年を下回って推移している。

7月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(7月末水準 1.694%、前月比 0.009%ポイント)。



## 【倒 産】

県内 8 月の企業倒産(負債総額 1 千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は 61 件で前年同月比 35.6%の増加、負債総額は 41 億 40 百万円で同 12.8%の減少となった。

倒産件数は、2 か月連続で 60 件を上回り本年 2 番目となった。負債総額は、10 億円以上の大型倒産がなく、本年最小となった。

当月も 1 億円未満の小口倒産が 47 件を占めるなど、小口主流であった。

なお、返済猶予に関連する倒産が 1 件発生した。

原因別(件数)では、販売不振が 36 件(全体の 59.0%)と当月もトップ。2 番目は赤字累積が 15 件であった。販売不振、赤字累積、売掛金回収難等の「不況型倒産」は 51 件と前月比 4 件の減少ながら、構成比は 83.6%と依然高い割合を占めている。

業種別(件数)では、建設業と不動産・サービス他業が各々 17 件(全体の 27.9%)と最も多く、2 番目は紙・印刷・出版・雑貨業が 7 件、次いで金属・機械・電気業が 6 件と続いている。

「資本金別」では、「個人企業」25 件でトップ、次いで「1 千万円以上」が 18 件、「1 百万円以上」が 15 件となった。

「産業別」では、「建設業」が 17 件でトップ、次いで「サービス・他業」が 14 件、「製造業」が 10 件となった。

県下の企業倒産は、再延長となった「中小企業金融円滑化法」や各種の金融政策の効果が寄与し、基調として抑制傾向の推移が見られる。具体的には、平成 23 年の年間倒産件数は前年比 104 件減少したほか、24 年も 6 月までの上半期累計では前年比 11 件の減少で終えている。ただ、当月は倒産件数が 2 か月連続で 60 件台となるなど、当年の累計では前年比増加に転じており、金融政策による倒産抑制効果は今後薄れてくるとみられることから、企業倒産は今年内にも増加傾向に転じる恐れを含んでいる。

8 月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額 1,000 万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	5	4	1	0	5	金属・機械・電気	6	9	-3	6	0
過小資本	1	1	0	1	0	化学・薬品	1	1	0	1	0
連鎖倒産	2	1	1	2	0	ゴム・皮革・ケミカル	0	0	0	0	0
赤字累積	15	3	12	4	11	食品	5	4	1	6	-1
販売不振	36	52	-16	34	2	建設	17	8	9	19	-2
売掛金回収難	0	0	0	1	-1	不動産・サービス	17	22	-5	7	10
その他	2	1	1	3	-1	運輸・通信他	15	18	-3	6	9
合計	61	62	-1	45	16	合計	61	62	-1	45	16

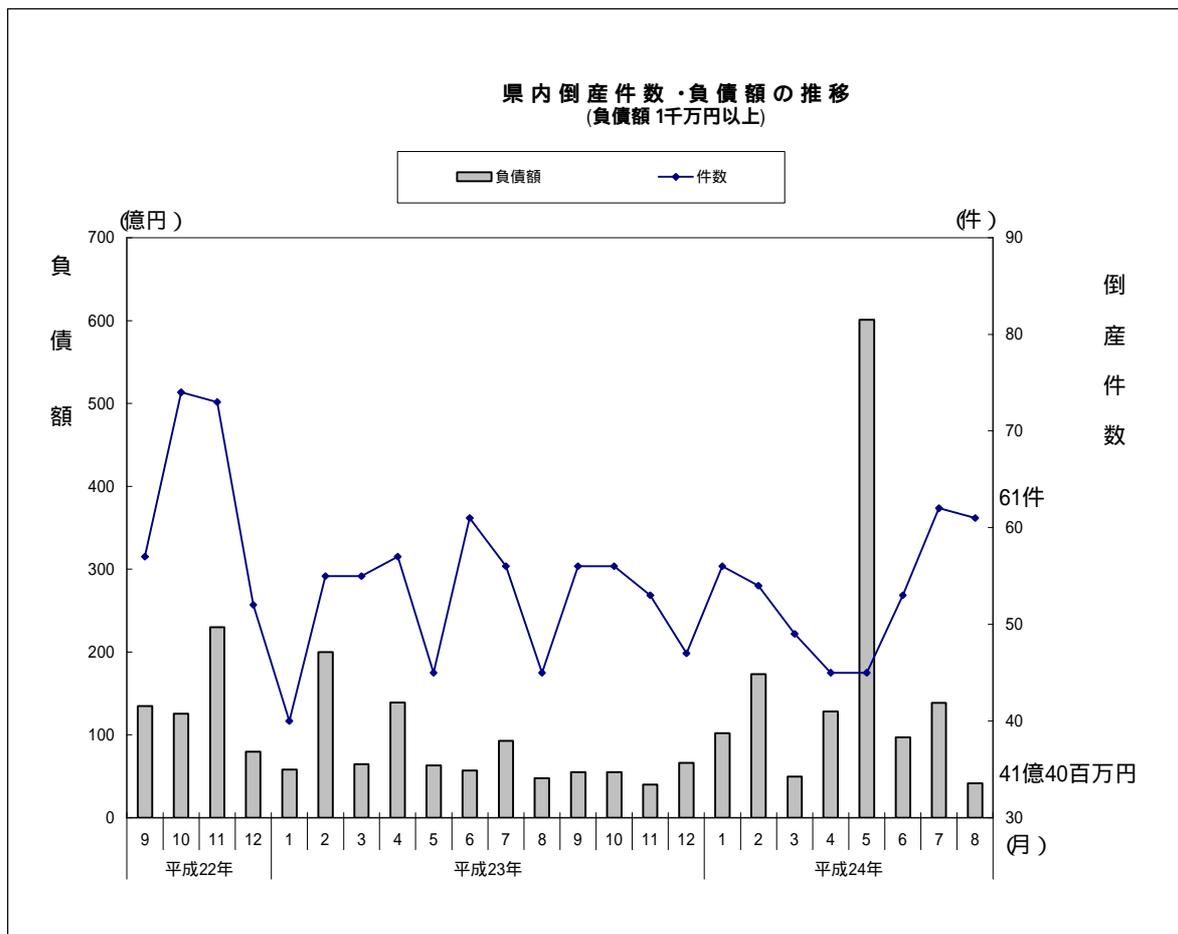
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1.0	0.9
24年 1月	56	14	19	6	9	3	0	5
24年 2月	54	17	23	5	2	4	1	2
24年 3月	49	15	23	0	9	1	1	0
24年 4月	45	14	14	7	6	1	2	1
24年 5月	45	16	18	5	5	0	0	1
24年 6月	53	18	25	4	3	1	1	1
24年 7月	62	16	28	4	11	0	1	2
24年 8月	61	22	22	6	5	1	1	4

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



# 県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額 (億円)	前年比	前年比	戸数 (戸)	前年比	前年比
23年		%		%		%	%		%	%
1月	97.4	0.2	96.0	1.3	166	-23.2	-9.9	2,232	-2.6	2.7
2月	101.3	4.1	97.9	1.8	186	-13.4	4.2	2,615	-22.8	10.1
3月	95.8	-5.5	82.7	-15.5	346	-42.6	-3.5	2,685	-34.8	-2.4
4月	98.8	2.1	84.0	1.6	287	-4.5	-11.2	2,607	-0.4	0.3
5月	102.9	3.9	89.2	6.2	158	-24.3	-14.1	2,093	-16.6	6.4
6月	101.8	-0.8	92.6	3.8	178	-25.4	-3.4	2,817	16.1	5.8
7月	100.3	-2.4	93.0	0.4	205	-41.5	-15.9	3,046	-7.5	21.2
8月	99.3	-1.8	93.6	0.6	181	-13.1	3.5	3,334	7.3	14.0
9月	96.8	-3.7	90.5	-3.3	267	-15.0	3.3	2,475	-12.7	-10.8
10月	98.7	1.5	92.5	2.2	229	-10.7	3.2	2,480	4.6	-5.8
11月	97.5	-0.9	90.1	-2.6	186	-26.6	6.8	2,703	7.2	-0.3
12月	98.7	0.2	93.4	3.8	182	-6.1	0.6	3,398	3.8	-7.3
24年										
1月	102.9	3.0	95.2	1.9	145	-12.9	8.5	2,823	26.5	-1.1
2月	99.0	-1.2	94.4	-1.6	130	-29.9	16.8	2,314	-11.5	7.5
3月	97.9	-2.9	95.3	1.0	251	-27.6	8.0	2,923	8.9	5.0
4月	96.3	1.5	95.4	-0.2	372	29.5	5.4	2,579	-1.1	10.3
5月	95.0	-0.2	92.2	-3.4	193	22.3	36.7	2,581	23.3	9.3
6月	r 94.0	-1.3	92.6	0.4	266	49.6	14.1	3,066	8.8	-0.2
7月	p 95.4	1.5	91.7	-1.0	217	6.0	26.6	3,152	3.5	-9.6
8月					178	-1.6	19.2			
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

\* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額 (億円)	前年比	前年比	金額 (億円)	前年比	金額 (億円)	前年比
23年		%	%		%	%		%		%
1月	10,161	-22.4	-19.0	199	-1.2	-1.1	3,650	4.7	2,191	8.6
2月	13,994	-15.2	-13.8	153	-0.5	0.6	4,460	20.7	1,799	9.4
3月	14,841	-35.5	-37.4	175	-5.4	-15.0	5,143	13.8	2,337	14.8
4月	5,776	-50.6	-48.5	175	0.7	-1.8	4,686	2.7	2,425	11.3
5月	7,635	-33.0	-33.3	167	-4.2	-2.6	4,234	1.3	2,348	14.8
6月	11,464	-22.3	-21.9	170	-2.6	0.1	4,712	9.7	2,402	13.2
7月	11,459	-29.0	-25.6	215	-1.7	-0.4	4,615	-3.3	2,275	10.4
8月	10,264	-29.0	-26.0	156	-3.2	-2.1	4,244	4.2	2,417	14.2
9月	15,901	-2.7	-2.1	150	-5.7	-2.8	4,576	3.3	2,183	9.3
10月	12,206	26.2	27.5	175	-0.7	-0.8	4,476	-2.8	2,252	27.1
11月	13,092	30.5	25.1	185	-4.5	-2.2	4,184	2.2	2,345	17.5
12月	11,605	23.1	20.9	268	0.5	0.7	4,690	-2.8	2,150	4.7
24年										
1月	14,266	40.4	38.4	196	-1.7	-1.2	3,277	-10.3	2,319	5.9
2月	18,388	31.4	31.7	156	2.3	-0.5	4,375	-1.9	1,796	-0.2
3月	24,941	68.1	76.3	179	2.3	14.2	4,879	-5.1	2,225	-4.9
4月	11,728	103.0	99.5	165	-1.7	1.6	4,398	-6.1	2,151	-11.4
5月	12,881	68.6	68.6	165	2.7	-0.9	3,935	-7.1	2,359	0.4
6月	16,893	47.4	46.8	164	-0.2	-1.2	r 4,418	-6.3	p 2,088	-13.1
7月	16,384	43.0	42.3	203	-1.4	-3.3	p 4,239	-8.1	p 2,227	-2.2
8月	11,762	14.6	15.6	151	0.6					
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

\* p は速報値 r は確報値

\* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与, 30人以上)		消費者物価指数 (22年 = 100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (22年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
23年 1月	(季調済) 0.57	(季調済) 0.61	1,001	0.2	98.9	0.1	99.5	-0.2	99.5	-0.6
2月	0.59	0.62	998	0.1	99.2	0.0	99.5	-0.2	99.5	-0.5
3月	0.59	0.63	996	0.3	101.1	1.2	99.7	-0.2	99.8	-0.5
4月	0.58	0.61	1,009	0.9	100.8	0.2	99.8	-0.6	99.9	-0.4
5月	0.57	0.61	1,012	0.9	99.7	0.0	99.8	-0.3	99.9	-0.4
6月	0.58	0.63	1,013	1.1	100.1	-0.5	99.8	-0.3	99.7	-0.4
7月	0.59	0.64	1,015	1.1	100.1	-0.4	99.7	0.1	99.7	0.2
8月	0.60	0.66	1,012	1.0	99.5	-0.8	100.0	0.0	99.9	0.2
9月	0.61	0.67	1,008	0.5	99.8	-1.1	100.2	0.0	99.9	0.0
10月	0.60	0.67	1,005	0.0	99.9	-0.9	100.4	-0.1	100.0	-0.2
11月	0.61	0.69	1,008	0.1	101.4	0.3	99.6	-0.6	99.4	-0.5
12月	0.62	0.71	1,007	0.3	99.9	-0.8	99.5	-0.4	99.4	-0.2
24年 1月	0.65	0.73	1,053	5.2	98.7	-0.2	99.7	0.2	99.6	0.1
2月	0.66	0.75	1,049	5.1	98.9	-0.3	100.1	0.6	99.8	0.3
3月	0.68	0.76	1,043	4.7	100.1	-1.0	100.4	0.7	100.3	0.5
4月	0.68	0.79	1,053	4.4	100.5	-0.3	100.3	0.5	100.4	0.4
5月	0.69	0.81	1,052	4.0	98.8	-0.9	100.2	0.3	100.1	0.2
6月	0.70	0.82	1,051	3.8	100.2	0.1	99.8	0.0	99.6	-0.2
7月	0.70	0.83	1,054	3.8	100.0	-0.1	r 99.6	0.0	99.3	-0.4
8月							p 99.9	-0.1		
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (H24.5より22年 = 100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産 (負債1,000万円以上)				
	全国		金額		全国銀行	件数	金額	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %				神戸	阪神	播磨他
23年 1月	103.9	1.5	151,540	-0.9	1.547	40	58	6	15	19
2月	104.1	1.7	151,452	-0.9	1.539	55	200	16	14	25
3月	104.7	2.0	154,140	0.2	1.519	55	65	16	20	19
4月	105.6	2.5	151,177	-0.4	1.521	57	139	21	17	19
5月	105.5	1.6	150,788	-0.9	1.512	45	63	14	17	14
6月	105.5	1.9	150,230	-0.5	1.508	61	57	13	23	25
7月	102.2	2.2	150,694	-0.7	1.501	56	93	18	16	22
8月	102.1	2.2	149,665	-0.7	1.496	45	47	15	9	21
9月	101.9	2.0	150,667	-0.6	1.473	56	55	17	22	17
10月	101.1	1.3	149,677	-1.1	1.474	56	55	19	17	20
11月	101.0	1.3	150,005	-0.4	1.469	53	40	19	17	17
12月	101.0	0.8	151,631	-0.6	1.452	47	66	8	19	20
24年 1月	100.9	0.3	150,149	-0.9	1.452	56	102	14	19	23
2月	101.1	0.4	149,482	-1.3	1.442	54	173	17	23	14
3月	101.6	0.3	152,152	-1.3	1.428	49	49	15	23	11
4月	101.7	-0.4	150,310	-0.6	1.424	45	128	14	14	17
5月	101.2	-0.7	150,352	-0.3	1.421	45	601	16	18	11
6月	100.5	-1.4	150,636	0.3	1.409	53	97	18	25	10
7月	r 100.0	-2.2	150,531	-0.1	1.403	62	138	16	28	18
8月	p 100.3	-1.8				61	41	22	22	17
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

\* p は速報値 r は確報値